



日高 SSH NEWS

【第1号】

日高高校・附属中学校は本年度、SSH再指定(5年間)の4年目に入りました。

5月21日・22日 総合科学科1年生

NS I 特別講義(京都大学瀬戸臨海実験所研修)報告

1年生総合科学科の生徒による「チュラルサイエンスI特別講義」を京都大学瀬戸臨海実験所(白浜町)において実施しました。

この研修は、生物多様性と生物分類、環境保全運動について実習を通して学び、今後の学習につなげることを目的として毎年行っているもので、今年は6組が21日(木)、5組が22日(金)と2日間にわたって実施されました。

両日も天候に恵まれ、充実した研修となりました。生徒からは、「もう少し野外実習の時間がほしかった」との声もありましたが、全員積極的な姿勢で取り組めたのではないのでしょうか。研修内容を今後の学習に活かしてくれることを期待します。



◆ 研修内容と、お世話になった講師の先生方 ◆

- 研修① 講義：「天神崎保全運動と天神崎の生物多様性」
講師：丸村真弘氏(天神崎の自然を大切にする会 理事)
- 研修② 水族館実習・分類実習および講義：「生物分類の基礎と海洋生物の多様性」
講師：大和茂之氏(京都大学瀬戸臨海実験所 助教)
- 研修③ 野外実習(磯観察と採集)および講義：「田辺湾の生物多様性とその分類」
講師：大和茂之氏(京都大学瀬戸臨海実験所 助教)
丸村真弘氏(天神崎の自然を大切にする会 理事)

今年度もがんばります！

附属中学「実験科学」各学年の取り組みについて

学校設定科目「日高シナジー」の一つである「実験科学」では、実験や観察、体験を重視し、課題に対して科学的に思考する力と課題を解決する力を養うことをめざします。中高6年間を見通して段階的に、実験器具の使い方や観察、データ処理や分析、レポートや論文の書き方、プレゼンテーションの方法等を習得します。

1年時はグループで課題設定や検証実験、ポスター発表を行い、レポートは個人で取り組みます。今年度は「ストローロケットの飛距離について研究しよう」というテーマで、洗濯ばさみのばねの反発を利用し、ストローが飛ぶ距離について探究します。

2年時では、グループによる課題解決学習と発表時にプレゼンテーションソフト等のICT機器を活用し、より高度な発表力を養います。「カイロの発熱反応と条件による違いについて調べよう」というテーマで、最も効率の良い発熱の諸条件について、条件付けを行いながら実験を立案・実施し、考察していきます。

3年時では「発電効率のいい風車を作ろう」という課題について、試行錯誤を繰り返す中で論理的に思考し、科学的に探究する力を身に付けていきます。さらに、これまで培ってきた課題設定力、研究計画の立案、論文作成とICT機器を活用した発表力の集大成として「卒業研究(課題研究I)」に取り組み、高校での「課題研究II」につなげていきます。また、高校で実施される国際交流学習や研究につながるよう、大学で科学英語の特別講義を受け、卒業研究レポートの概要については英語で作成します。



写真は昨年度の中3生「実験科学」のようす

高校「種子島・屋久島研修」参加者決定！

11月4日(水)～7日(土)にかけて高校で実施される「種子島・屋久島研修」の参加者が決定しました。17名の定員に22名の生徒が応募しましたが、レポートによる選考の結果、高校1年生12名と2年生5名(男子6名、女子11名)が参加することになりました。今後は事前学習などを行い、現地に向かうための様々な準備を行います。

研修内容については、全校生徒のみなさんにもお伝えする予定です。お楽しみに！！



昨年度の研修のようす

今年度のSSH事業について

7月以降に予定されている行事で、高校生のみなさんに関するものをお知らせします。

- ◆7/1(水)・2(金) 高1普通科 生物基礎 特別講義
「名田海岸・日高川河口干潟研修」
- ◆10/12(月)～15(木) デンマーク・フレデリクスハウ
ン 高校訪問団 来校
- ◆11/11(水) 高2普通科理系・総合科学科 校外研修
- ◆12/13(日)～17(木) さくらサイエンスプラン
海外の学生を招聘し、近大生物理工学部とSpring-8
での研修を行います。参加者募集！(詳細は後日)